

株主の皆様へ

第21期 中間事業報告書

平成14年 3月 1日から
平成14年 8月31日まで



INSIDE of
POCKET CARD

ポケットカード株式会社

私たちは 「お客さまに“NO”と言わない」 を宣言します。

お客さまが 主役

「お客さまが主役」「お客さまに夢を」を
スローガンに、いつも全員が
お客さまの目線に立ち、お客さまのご満足を
徹底的に追及します。

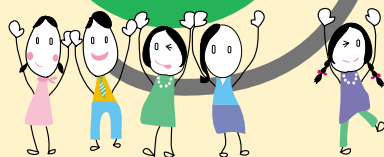
先進性と ローコスト

先進的かつスリムで強靱な
ローコスト体制を構築して、
リーディングカンパニーの
実現を目指します。

主体的で 闊達な行動

自らを考え、主体的に行動し、
いつも明るく躍動感ある職場作りに
全力で取り組みます。

このスペースには社内各部門が
スローガンを掲げて日々の業務に
取り組んでいます。



株主の皆様へ

株主の皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当社の第21期中間期（平成14年3月1日から平成14年8月31日まで）が終了いたしましたので、営業の概況等につきましてご報告申し上げます。

当中間期は、国内外とも景気の後退感を強め、厳しい経営環境となっておりますが、当社は、お客さまへの一層のサービスの充実と思い切った外部提携先の拡大に注力し、三洋信販グループの「ニューサービスバンク」の実現を目指してまいりたいと考えております。また、お客さまに高く評価される事業モデルの構築により、企業価値を高めるよう役職員一丸となって邁進する所存でございます。

なお、代表取締役社長でありました三輪 侑が健康上の理由により退任したことにより、平成14年11月1日付で取締役会長である椎木正和が代表取締役に就任し、社長を兼務いたしておりますので併せてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましてはなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役会長兼社長 椎木 正和

当中間期のポケットカードのご報告

営業の経過及び成果

当中間期におけるわが国経済は、輸出の持ち直しや生産の回復傾向等により景気の底打ち感がみられた反面、依然として設備投資は低迷し、個人消費についても底堅いものの、雇用環境の悪化の改善がみられないこともあり、総じて脆弱な景気状況が続いております。

当クレジット業界におきましては、ショッピング、キャッシングの取扱高は前年より増加しており、市場全体の規模は拡大しておりますが、異業種からの参入等による競争の激化や自己破産の増加による債権リスクの増大等により厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもとで、当社は「新生ポケットカードの“創業”」を企業スローガンとして、旧マイカルカード時代とはまったく違った新機軸を打ち出すべく改革を進めております。

カード募集におきましては、平成14年5月29日付で更生会社株式会社マイカルと基本合意書を締結いたしました。これにより引き続きマイカルの店舗である「SATY」・「VIVRE」において営業・募集活動を行うことに合意するとともに、既存のマイカルカード会員に対しても、従来どおり店舗における特典を付与することが可能となっております。

さらに、株式会社ワーナー・マイカルが展開するシネマコンプレックス「ワーナー・マイカル・シネマズ」をカード募集の重要拠点とし、スクリーンでの広告展開を含め積極的なタイアップ活動を行っております。

一方、新たな営業基盤の確立をめざして提携カード拡大にも積極的に取り組み、当中間期中には、マイカルグループから独立した株式会社ポスフルとの「ポスフルカード」等の提携カードをはじめとして、ア

ートコーポレーション株式会社との「ART de Shopping」、天王寺ターミナルビル株式会社（天王寺MiO）との「MiO CLUBポケットマスターカード」、株式会社イー・プレイヤーズ及び株式会社モール・オブ・ティーヴィーとの「e-players “MALL OF TV カード”」等の各種提携カードの発行を開始しております。

また、会員にとってシンプルでわかりやすく、魅力あるカード付帯特典として、お買物にカードをご利用いただくと常時請求時1%割引となる特典を開始するとともに、「ポケットカードイエロー」、「マイカルブルーカード」については年会費を永年無料といたしました。

これらの施策により、当中間期において29万枚の新規カードを獲得することができ、当中間期末における有効会員数は約320万人となりました。

部門別の取扱高は、割賦購入あっせん部門についてはマイカルの店舗閉鎖や売上の回復の遅れ等によるマイカル内での取扱高が大きく減少したことが影響し、その取扱高は558億6千4百万円（前年同期比76.8%）にとどまりました。

融資部門につきましては、キャッシング限度額引き上げやCD・ATMネットワークの拡大の効果もあり、その取扱高は738億4千5百万円（前年同期比126.2%）と順調に拡大いたしました。また、融資代行部門の取扱高は365億8千7百万円（前年同期比84.7%）となりました。

以上の結果、当中間期の営業収益は164億1千3百万円（前年同期比103.3%）と増収となりましたが、全社的なコスト削減キャンペーンにより管理費の削減

に努めたものの、広告宣伝費や貸倒費用等の増加により、経常利益は35億7千9百万円(前年同期比74.3%)にとどまりました。また特別損失として本社移転費用等1億5千9百万円を計上いたしました結果、中間利益は前年同期に比べ2億5千5百万円減少し、19億5千6百万円(前年同期比88.5%)となりました。

通期の見通し

今後の見通しにつきましては、9月以降の株安により金融システム不安が再燃する気配もあり、景気については当面本格的な回復が見込めない状況が続くと考えられます。

当社においては、マイカルの更生計画策定にむけての動向を注視してまいりますとともに、下期にはマイカル内でのカード募集活動に、積極的に経営資源を振り向け、新規のお客さまの獲得に努めてまいります。また既存のカード会員に対してはリテンション(つな

ぎとめ)プログラムを導入することで、新規にご入会いただいたお客さまを含めて関係を強化し、長くご利用していただけるカードを目指してまいります。

また、当第21期の中間配当金につきましては平成14年10月28日開催の取締役会において、1株につき15円とさせていただくことといたしました。同時に期末配当金については当社を取り巻く経営環境を勘案し当初予想の15円から1株あたり10円の予想に修正させていただくことといたしました。

なお、通期の業績につきましては、取扱高3,410億円、営業収益330億円、経常利益65億円、当期利益は30億円を見込んでおります。

みなさんの質問に お答えします。

前期、事業報告書のアンケートはがきで多く寄せられた質問にお答えします！



Q. 本社が大阪から移転しましたが、今後株主総会は東京でやるのですか？

A. 商法の規定により株主総会は登記上の本店所在地(当社は東京都港区)またはその隣接地で開催することになりますので今後は東京で開催となります。

Q. 株主優待はないのですか？

A. 株主様へのご優待については現在どのようなものがよいか検討しております。商品・サービス両面で検討しており、株主様にとってよいものをご提供できればと考えております。

Q. ポケットカードの知名度が低くPR不足の気がします。どのような対策をしているのでしょうか？

A. 今期はワーナー・マイカルでのスクリーン広告のリニューアル、親会社の三洋信販がスポンサーとなっていたパンパシフィック水泳でのグループ協賛等を行っております。当社としましても、今後も認知度を上げるためにさまざまな広告宣伝活動をしてまいります。

新提携先と提携カードの紹介



千趣会メンバーズカード

通信販売業界のリーディングカンパニーである(株)千趣会の100%子会社である千趣会ゼネラルサービス(株)との提携カード。千趣会は女性をメインターゲットとして、カタログやインターネットを通じ、衣料・インテリア等多彩な商品を販売し支持を得ております。この提携により当社はカード募集チャネルを拡大し幅広い会員募集を展開します。

さくら野カード

株式会社ダックビブレから社名変更した株式会社さくら野百貨店との提携カード。当社はすでに同社との提携カード「ビブレクラブカード」を発行しておりましたが、本年9月1日の社名変更に伴い、同社でのハウスカードとして、新たに「さくら野カード」を発行いたしました。



あるあるカード

アップル車検を展開する、業界大手の車検ボランタリーチェーンであるアップルグループとの提携カード。この「あるあるカード」は、クレジット機能とポイント機能を一体化したカードであり、このポイントプログラムは利用額に対してのポイント付与だけでなく、早めの車検予約やお客さまのご紹介によってもポイントが付与される、新しいポイントプログラムとなっております。

e-Players “MALL OF TVカード”

わが国でもトップクラスのスポーツポータルサイトを運営する(株)イー・プレイヤーズと同社の提携先であり24時間のTVショッピング専門チャンネルを運営する(株)エール・オブ・ティーヴィーとの提携カード。同番組の視聴可能世帯数は全国で860万世帯にのぼります。この提携で両社および両者の関連協力企業が事業展開するメディア上において広範囲にカード募集が可能となります。

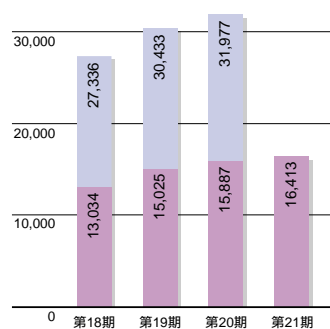


Financial Highlights [財務ハイライト]

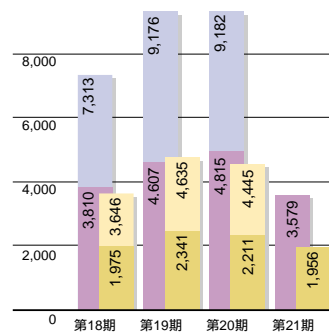
項目	第18期		第19期		第20期		第21期
	中間期 (H11.3 - H11.8)	通期 (H11.3 - H12.2)	中間期 (H12.3 - H12.8)	通期 (H12.3 - H13.2)	中間期 (H13.3 - H13.8)	通期 (H13.3 - H14.2)	中間期 (H14.3 - H14.8)
営業収益(千円)	13,034,700	27,336,205	15,025,146	30,433,052	15,887,470	31,977,281	16,413,017
営業利益(千円)	3,825,414	7,426,955	4,704,520	9,315,307	4,835,433	9,492,877	3,652,633
経常利益(千円)	3,810,445	7,313,421	4,607,093	9,176,734	4,815,470	9,182,489	3,579,746
中間(当期)利益(千円)	1,975,788	3,646,978	2,341,420	4,635,195	2,211,968	4,445,671	1,956,786
1株当たり中間(当期)利益	77円12銭	132円05銭	77円07銭	152円57銭	72円81銭	146円34銭	64円41銭

(注) 記載金額は、千円未満を切捨てて表示しております。

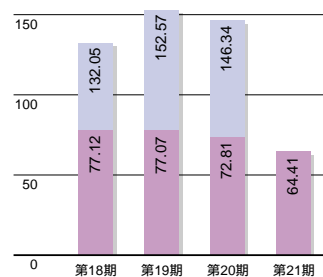
営業収益 (単位: 百万円)
中間期 通期



経常利益 / 中間(当期)利益 (単位: 百万円)
経常利益 中間期 通期 中間(当期)利益 中間期 通期



1株当たり中間(当期)利益 (単位: 円)
中間期 通期



Financial Statements [財務諸表]

中間貸借対照表 (単位：千円)

科目	当中間期	前 期
資産の部		
流動資産	145,517,622	131,861,025
現金預金	37,332,234	13,471,299
割賦売掛金	24,337,049	25,843,785
営業貸付金	78,426,666	90,059,412
未収リース料	-	50
前払費用	781,663	686,874
未収入金	3,027,656	2,728,852
繰延税金資産	261,246	587,059
その他流動資産	5,108,105	1,943,690
貸倒引当金	3,757,000	3,460,000
固定資産	9,011,896	7,890,079
有形固定資産	2,859,847	2,886,373
貸与資産	5,929	7,502
建物	801,269	837,464
器具備品	684,449	737,723
土地	1,303,683	1,303,683
建設仮勘定	64,514	-
無形固定資産	2,166,258	1,867,595
ソフトウェア	2,067,689	1,769,189
電話加入権	98,568	98,406
投資等	3,985,790	3,136,110
投資有価証券	1,427,494	1,377,306
長期前払費用	757,370	678,577
差入保証金	1,713,856	905,229
長期繰延税金資産	74,472	111,062
更生債権等	24,000	140,282
その他投資等	28,796	212,134
貸倒引当金	40,200	288,482
資産合計	154,529,518	139,751,104

科目	当中間期	前 期
負債の部		
流動負債	75,188,932	63,041,070
買掛金	12,743,211	13,034,667
短期借入金	17,050,000	17,850,000
長期借入金 (一年以内返済予定)	21,353,600	19,933,600
コマーシャルペーパー	19,500,000	7,500,000
未払金	2,817,905	1,926,876
未払費用	310,581	363,189
未払法人税等	1,100,191	2,200,259
賞与引当金	178,299	155,680
その他流動負債	135,144	76,797
固定負債	38,212,654	37,046,110
社債	8,196,560	8,196,560
長期借入金	29,597,400	28,373,200
退職給付引当金	411,044	463,110
長期預り保証金	7,650	13,240
負債合計	113,401,587	100,087,180
資本の部		
資本金	11,020,240	11,020,240
法定準備金	12,839,463	12,839,463
資本準備金	12,329,530	12,329,530
利益準備金	509,933	509,933
剰余金	17,283,740	15,817,413
任意積立金	14,581,145	11,130,503
特別償却準備金	296,145	345,503
別途積立金	14,285,000	10,785,000
中間未処分利益	2,702,594	4,686,910
(うち中間利益)	(1,956,786)	(4,445,671)
その他有価証券評価差額金	13,095	12,022
自己株式	2,418	1,171
資本合計	41,127,931	39,663,924
負債・資本合計	154,529,518	139,751,104

中間損益計算書（単位：千円）

科目	当中間期	前中間期
経常損益の部		
営業損益の部		
営業収益	16,413,017	15,887,470
割賦購入あっせん収益	1,409,067	1,947,706
融資収益	13,677,576	11,658,873
融資代行手数料	442,185	550,520
リース利益	273	7,968
金融収益	12,147	3,865
その他営業収益	871,766	1,691,535
営業費用	12,760,383	11,052,036
販売費及び一般管理費	11,675,332	10,384,062
金融費用	1,085,051	667,973
営業利益	3,652,633	4,835,433
営業外損益の部		
営業外収益	8,294	59,477
雑収入	8,294	59,477
営業外費用	81,182	79,440
雑損失	81,182	79,440
経常利益	3,579,746	4,815,470
特別損益の部		
特別利益	4,860	-
特別損失	158,763	954,084
固定資産除却損	36,913	-
本社移転費用	121,850	-
役員退職慰労金	-	154,560
退職給付会計基準変更時差異償却額	-	634,524
施設利用会員権評価損	-	165,000
税引前中間利益	3,425,843	3,861,386
法人税・住民税及び事業税	1,105,876	1,894,174
法人税等調整額	363,180	244,756
中間利益	1,956,786	2,211,968
前期繰越利益	745,808	742,512
中間未処分利益	2,702,594	2,954,480

中間キャッシュ・フロー計算書（単位：千円）

科目	当中間期	前中間期
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,127,292	3,370,530
投資活動によるキャッシュ・フロー	652,489	1,189,111
財務活動によるキャッシュ・フロー	13,387,263	69,478
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,130	209
現金及び現金同等物の増加額	23,860,935	4,489,954
現金及び現金同等物の期首残高	13,471,299	14,319,958
現金及び現金同等物の中間期末残高	37,332,234	9,830,003

営業収益

ショッピングの取扱高の減少により割賦購入あっせん収益は減少したものの、優良会員向けのキャッシング取扱高の伸長により前年同期に比べ3.3%の増収となりました。

経常利益

広告宣伝費や貸倒費用等の販管費の増加により、前年同期に比べ24.5%の減益となりました。

中間利益

前年同期に比べ、25.7%の減益となり、1株当たり中間利益は64円41銭となりました。

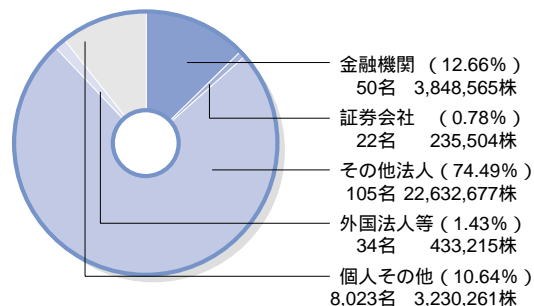
Stock Information [株式インフォメーション] (平成14年8月31日現在)

会社が発行する株式の総数 80,000,000株
 発行済株式の総数 30,380,222株
 当期末株主数 8,234名
 大株主

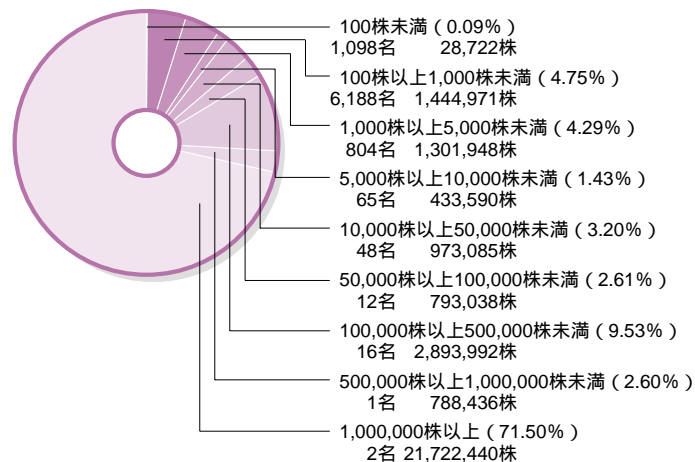
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
三洋信販株式会社	15,494,000	51.00
株式会社マイカル	6,228,440	20.50
株式会社みずほコーポレート銀行	788,436	2.60
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	432,100	1.42
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	308,700	1.02
あいおい損害保険株式会社	211,000	0.69
株式会社新生銀行	202,400	0.67
住友信託銀行株式会社	188,000	0.62
日本生命保険相互会社	187,000	0.62
第一生命保険相互会社	168,500	0.55

株式分布状況

所有者別



所有株数別



Corporate Profile [会社の概要] (平成14年11月1日現在)

会社の概要

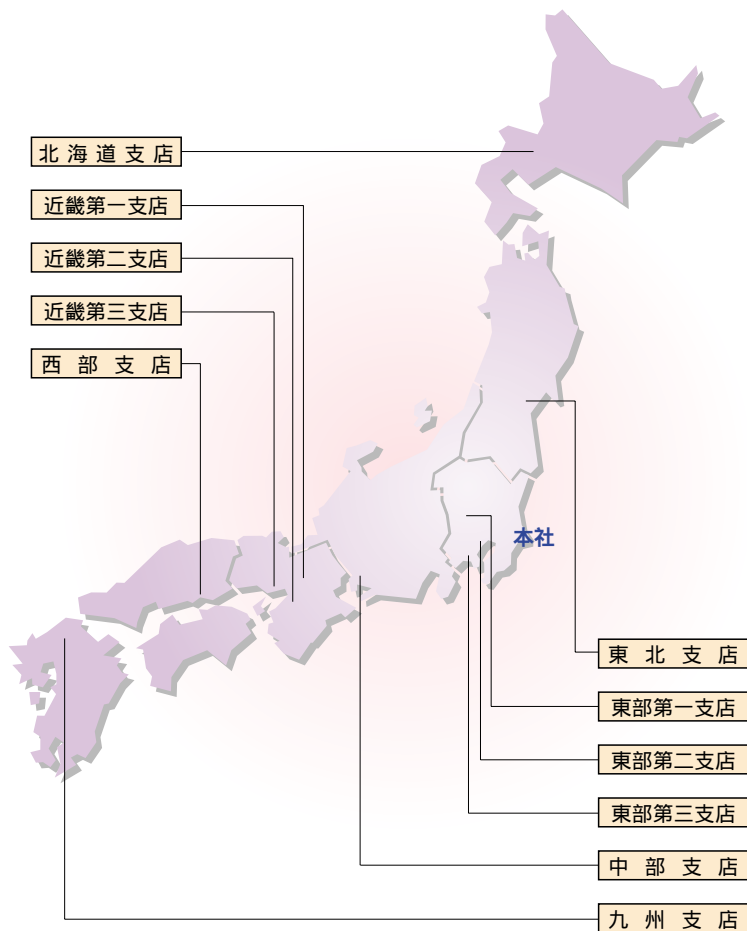
会社名 ポケットカード株式会社
英 訳 名 POCKET CARD CO., LTD.
本社所在地 東京都港区三田二丁目14番5号
設 立 昭和57年5月25日
資 本 金 11,020,240,000円
従 業 員 数 532名 (平成14年8月31日現在)
事 業 内 容 割賦販売斡旋業、金銭貸付業、生命
保険の募集に関する業務及び損害保
険代理業、総合リース業、旅行業法
に基づく旅行業、その他
ホームページ <http://www.pocketcard.co.jp>

役員 の 状 況

代表取締役社長	椎 木 正 和
兼 社 長	
取 締 役	四十宮 正 男
取 締 役	茶 木 正 安
取 締 役	椎 木 正 治
常 勤 監 査 役	藤 井 照 昭
常 勤 監 査 役	倉 重 智 行
監 査 役	岡 本 茂 登
監 査 役	西 谷 誠 一
専務執行役員	井 上 健 一
常務執行役員	草 野 元 彦
執 行 役 員	桑 原 三 太
執 行 役 員	島 津 卓 隆
執 行 役 員	松 尾 卓 男
執 行 役 員	島 本 和 俊

(注) 監査役倉重智行、岡本茂登及び西谷誠一の各氏は株式会社
の監査等に関する商法の特例に関する法律第18条第1項に定める社外監査役であります。

全国に広がるネットワーク



株主メモ

決算期	毎年2月末日
定時株主総会	毎年5月
株主確定日	定時株主総会 利益配当金 毎年2月末日 中間配当金 毎年8月31日 その他必要のあるときは、あらかじめ公告して基準日を定めます。
名義書換代理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番4号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	東京都府中市日鋼町1番10 (〒183-8701) 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	(住所変更等用紙のご請求) ☎ 0120-175-417 (その他のご照会) ☎ 0120-176-417
(インターネットホームページURL)	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html
同取次所	住友信託銀行株式会社 本店および全国各支店
1単元の株式の数	100株
公告掲載新聞	日本経済新聞
上場証券取引所	東京・大阪両証券取引所市場第一部



IRに関するお問い合わせは、
当社企業情報「CORPORATE GUIDE」
ホームページ内のお問い合わせメールフォームで
受付しております。

<http://www.pocketcard.co.jp/pr>